

令和6年度

学校説明会



横浜市立中和田小学校

〒245-0023

横浜市泉区和泉中央南四丁目9番1号

電話 045(802)2453

2455

FAX045(801)2743

中和田小学校校歌

作詞 吉川 静夫
作曲 清水 保雄

- 1 富士の山より いや高く
日に新しき 師の教え
歴史は古く むつみゆく
名も中和田の 我が母校

- 2 水も真澄の 池清く
今こそうつつせ 世の姿
桜の並木 風かおる
見よ中和田の 我が母校

- 3 強く正しく ほがらかに
学びの道を いざ進め
和泉の城址 花赤く
咲け中和田の 我が母校

- 4 桜のスロープ 歴史をきざみ
共に学び 集い合う
未来にはばたく 子どもたちよ
翔べ中和田の わが母校
(平成17年度卒業生作詞)

校章 第二代校長時代に作成(大正3年～5年の間)

作品の意図(中和田の校名を中心に入れ、地域の産物の稲で文字を囲み図案化した)

目 次

1 教育目標と教育方針

- (1) 全体計画..... 1・2
- (2) 中和田小中期学校経営方針..... 3
- (3) 豊かな心の育成推進プラン
 学力向上アクションプラン
 体育・健康プラン..... 4

2 教育活動

- (1) 各教科・領域の授業時数..... 5
- (2) 主な学校行事..... 6
- (3) いじめ防止基本方針（ダイジェスト）..... 7・8

3 その他

- (1) 警報発令時、大地震発生時の対応..... 9
- (2) 児童の登下校、保護者の来校について..... 10
- (3) 令和6年度 学年目標..... 11

横浜市立中和田小学校 全体計画

横浜教育ビジョン2030

横浜市立学校
カリキュラム・マネジメント要領

ブロック校の教育目標
9年間で育てる子ども像

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学校教育法施行規則

学習指導要領

学校教育目標 共に育つ中和田

自他の存在を愛情をもって認め、意欲的に学習活動に取り組む輝く子どもを育てるために、体験的な学習を大切に、保護者も含めた地域の方々と、手を携えて歩いていく学校を目指します。

★かがやく目【知】

- ・自ら進んで学習に取り組み、粘り強く課題解決を図る子を育てます。
- ・豊かなかかわりを通して、自分の考えを深め、表現できる子を育てます。

★わかり合う心【徳】

- ・礼儀や規律を重んじ、自他のよさを認め合い、支え合う子を育てます。

★みつめる生命【体】

- ・自他の生命を大切に、心身力を伸ばす子を育てます。

★つなぎ合う手【公】

- ・地域を愛し、積極的に社会にかかわり、貢献しようとする子を育てます。

★つくる未来【開】

- ・グローバルな視野をもち、持続可能な社会の実現に取り組む子を育てます。

☆誰にでも必ずある、その子の良さに目を向け、様々な個性を認め合う関係性を築きます。

☆学習の主体は子どもたち。教えてもらって覚える学習から、知りたい、解決したいという思いで取り組む学習へ。

☆他者との関わり・つながりの中で力を高める教育活動、学習指導の工夫をします。

「子ども一人ひとりを大切に、誰もが安心して楽しく過ごせる学校づくり」

○適切な児童理解をもとに子どもの自己有用感、自尊感情を育みます。

○学ぶことが楽しいと思える教育活動を実践します。

★かがやく目【知】自ら課題を見つけ、つかみ、解決する過程で、他の考えに触れ、自分の考えを広げ深めることを大切にします。「**知をつくる**」

★わかり合う心【徳】全教育活動を通して、自他の良さや違いを実感し、認め合うことを大切にします。「**風土をつくる**」

★みつめる命【体】運動や食事の楽しさを味わう過程で、心と身体をつながりを考え、健康を大切にします。「**元気をつくる**」

★つなぎ合う手【公】まちのよさに触れながら、自分にできることを見つけ、実践する過程でまちと自分とのかかわりを考えることを大切にします。

「**社会をつくる**」

★つくる未来【開】出会う全てと心豊かにかかわり、共感的に理解したり合意形成したりする過程で、多様性に触れ、自分を見つめることを大切にします。「**自己をつくる**」

重点取組分野と具体的な取組

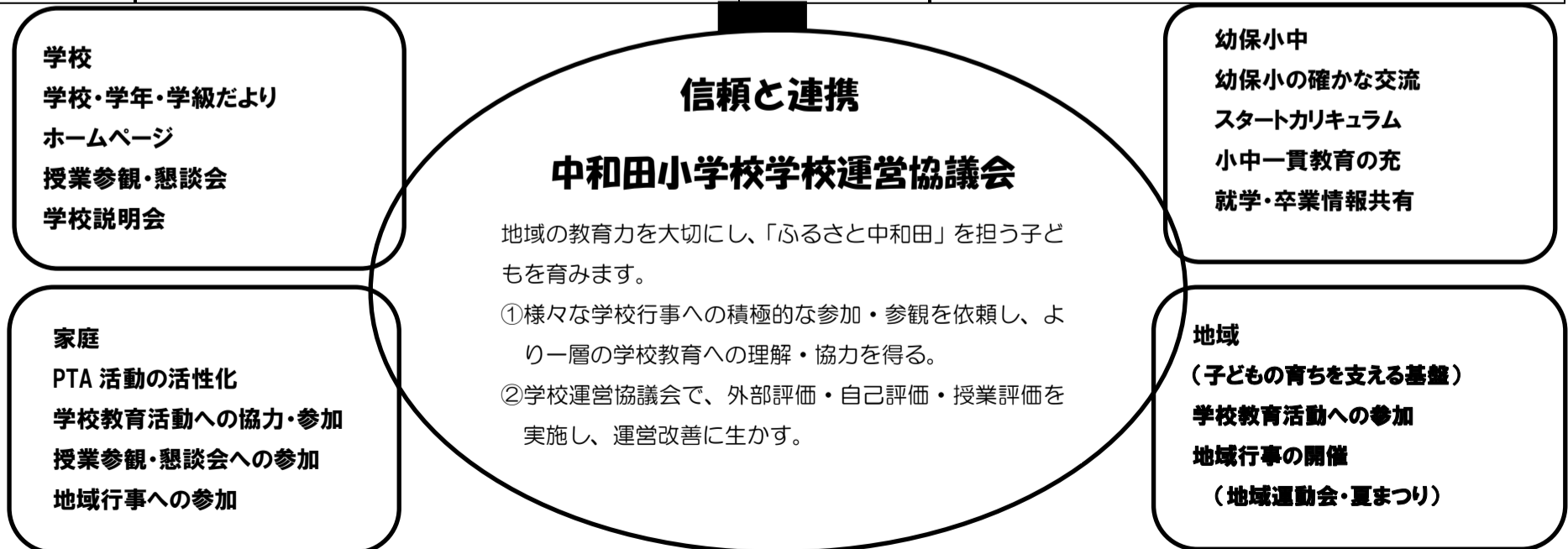
授業改善	道徳教育	健康教育	自分づくり	特別支援教育	児童指導	地域連携
主体的で深い学びを目指し、導入時の意欲づけの工夫、学びの道筋を児童が考える場、自身の学びの振り返りを大切にします。子どもが学び合いを通して、互いの良さを認め、学習を深めることを大切にします。個々に適した学び方を大切に、基礎・基本の定着を図ります。子ども同士の意見交流によって深め合いができる力を伸ばします。 ① 目の前の子どもの今を的確に捉え、育てる力を明確にし、子ども一人ひとりの資質・能力向上に努める。 ② 互いのよさを認め合い、高め合い、学び合う豊かな学習活動をつくる。 ③ 表現力(言葉・文・造形・音楽・身体等々)の育成。 ④ 家庭学習を含め自主的に学びをつくる力を育む。	道徳学習の充実をベースに、各教科や学校行事等の全教育活動で自他を大切にする心情や態度を育み、誰もが安心して豊かに生活することを目指します。子ども一人ひとりが安心して過ごせる居場所づくりに努めます。 ①ペア学年活動(なかよし活動)の充実を図り、異年齢のつながりと絆、自己有用感を育む。 ②豊かな関わりの一歩となる挨拶の大切さを年間通して伝えていく。 ③「ものこと人」との出会い・ふれあいを大切に、心の育ちに着眼しながら様々な教育活動の展開を図る。常により良いものを目指す教職員集団としていく。 ④命の大切さや人権意識をもつことの大切さを理解できるようにします。	保護者とともに「早寝・早起き・朝ご飯」を推進します。全校で学級づくり・体力づくりのため、「長縄チャレンジ」に取り組みます。心の健康にも目を向け心身ともに元気な子どもを育てます。心身ともに元気な子どもを育てます。 ①「早寝・早起き・朝ご飯」の一層の働きかけで心地よい生活を実感できるようにする。 ②体力アップの柱として、全校(全クラス)で「長縄チャレンジ」や「みんなで外遊び」に取り組む。 ③保健・食育などの学習の充実のため、養護教諭・栄養士と連携し、学年に応じた学習活動の展開を図る。 ④人権指導とともに性的マイノリティに関する指導や「いのちの学習」の充実を図る。	多くの人との関わりを通して自分を見つけ、集団の中での自分の価値や役割を理解し、将来の自分に向けた見通しや目標をもって自らをつくっていき力を育てます。 ①地域とのつながりの中で体験的に学ぶ機会を積極的に設け、他者との関わりの中で自分の思いを表現し、一人ひとりの自己有用感を高めるようにする。 ②自らの活動や学習の状況を振り返ったり見通したりして、自身の良さや課題、変容や成長を自己評価できるようにする。	個別支援級と一般級の繋がりを大切にします。全教職員で個に合った温かい指導を展開します。特別支援教育の充実を温かく支え、見守る空気をつくりまします。「教育のユニバーサルデザイン化」を推進します。 ①一般級と個別支援級の連携を強化し、学年研等の充実と常日頃の情報共有に努める。 ②子ども同士の関わり様子・姿をしっかりと見取り、教職員が感性豊かで的確な指導支援をする。 ③個別支援級児童の交流では、交流学年や交流学級の児童の温かい理解を促す。 ④特別支援教育に当たっては個別の教育計画や指導計画のもと一人ひとりに寄り添った指導をする。	学校・家庭・地域が一つになって子どもの成長を見守り、安心して学校生活を送れるようにします。子ども理解の感度を高めていきます。子ども一人ひとりの心の表れである挨拶や返事を大切にします。 ①日々、一人ひとりに愛情をもった指導に努める。 ②感性豊かに子どもたちと関わり、信頼感・安心感ある人間関係を築く。 ③チームとして何事も早期に発見・素早い対応・心ある取組に努める。 ④子どもや大人等年齢の別なく「いじめは人間として絶対に許されない」という意識の徹底を図る。 ⑤みんなが気持ちよく安心して過ごすために守るべきことは、しっかりと守ることの大切さを伝える。	中和田(学校・地域)ならではの「(人・もの・事)との出会い・ふれあい」による絆をより一層深めます。様々な機会を通して地域を理解するとともに学校を理解していただくことにも努めます。 ①授業参観・懇談会・運動会等の行事を通して子どもとのふれあいある活動の充実を図る。 ②学校だより・ホームページ・学校説明会・懇談会等の機会を活かし、学校への理解・協力を得るように努める。 ③地域行事には、積極的に子ども・職員・保護者が参加し、「まちを愛する心」を育む。温かい地域に過ごす喜びの実感をもたらす。 ④学校運営協議会を開催し、学校の活動についてのご意見を伺い、評価をしていただく。

学年別目標

	知 (生きてはたらく知)	徳 (豊かな心)	体 (健やかな体)	公 (公共心と社会参画)	開 (未来を開く志)
5・6年	○見通しをもって課題に取り組み、意欲的に最後まで学び続けるようにします。 ○相手の考えを受け止めながら聞き、ものの見方を広げ、自分の考えを深めるようにします。	○相手や場に応じて心のこもったあいさつをするようにします。 ○善悪を判断し、よいと思ったことは勇気をもって行動できるようにします。 ○相手のことを思いやり行動するようにします。	○自分から目標をもって継続して運動するようにします。 ○心身の状態を把握し健康的に生活するようにします。 ○かけがえのない自他の生命を大切にするようにします。	○目的をもってまちで学び、まちの人との関わりを深め、まちを大切に思う気持ちを持てるようにします。	○様々な人との出会いと関わりをもとに、互いのよさに気づき、よりよい関係を結ぶことができるようにします。
3・4年	○やってみたいことややるべきことから自分の課題を見つけ、解決に向けて進んで学ぶようにします。 ○人の話を素直に聞きながら自他の考えの違いに気づくようにします。	○自分から進んであいさつをするようにします。 ○善悪を判断し、けじめのある行動をするようにします。 ○思いやりの気持ちをもって友達とかかわるようにします。	○運動の楽しさを味わい体を動かす習慣を身につけるようにします。 ○体の発育・発達について理解し、元気に生活するようにします。 ○自他の心や体を大切にするようにします。	○積極的にまちで学びながら、まちの人と継続して関わり、まちで活動することを楽しむようにします。	○様々な人と出会い、関わりながら相手や自分のよさに気づくようにします。
1・2年	○自分がやってみたいことを見つけ、夢中になって取り組むようにします。 ○人の目を見て、心を動かしながら話を聞くようにします。	○はっきりした声であいさつをするようにします。 ○よいことと悪いことが分かり、よいことを進んでしようとします。 ○やさしい言葉づかいをして友達と仲よくするようにします。	○運動を楽しく行い、カー杯活動するようになります。 ○十分な睡眠と朝ご飯をとり、いきいきと生活するようにします。 ○自分や友達の心や体を大切にするようにします。	○まちで学ぶことを楽しんで、まちの人と関わることを楽しんだりしながらまちに親しみをもつようにします。	○様々な人との出会いを楽しみながら、進んで活動するようにします。

教科等の指導の重点

国語	○人との関係の中で、互いの立場や考えを尊重しながら言葉で思いを伝え合う力を高めます。伝え合いから考えを深めることができるようになります。	外国語	○英語に親しみ、積極的に様々な人々とコミュニケーションを図ろうとする態度を育てます。
社会	○人との関わりの中で、調べたり、考えたことを表現したりすることを通して、社会生活についての理解を図り、公民的資質の基礎を養います。	情報教育	○「視聴覚・情報メディアを活用し、子ども達が主体的に学習することを通して、情報活用能力を育成します。 ○ネットマナー等、情報を活用する際に守るべきことや気をつけるべきことを伝えていきます。
算数	○基礎、基本を身に付けます。 ○見通しをもち、筋道を立てて考える力を育みます。 ○自分の考えや思いを表現し、伝え合い、学び合う力を高めます。	道徳	○礼儀正しくすることや、規範意識をもつことの大切さがわかり、互いを尊重しながら、人との関わりをもてるようになります。
理科	○動植物の飼育などを通して、自然を愛し生命を大切にしている心情を育てます。 ○観察や実験を通して、器具や薬品などの扱いを身につけます。 ○自ら問題を見出す力や他者と協働し、多面的な見方・考え方で問題解決の力を養います。	特活	○自分たちの生活を見つめ、学級・学校生活をより豊かなものにしていく主体的な子どもを育てます。 ○たてわり活動を充実させ、人と豊かにかかわる子どもを育てます。 ○自分のよさを生かしながら、社会の一員としてルールを守って活動に積極的に参加する態度を育てます。
音楽	○様々な音楽学習を通して、音楽の楽しさ、美しさを感じ取り、自分らしい表現を求め続け、音楽活動をする喜びを友達と分かち合います。	生活総合	○身近な地域の事象や自然、人々との関わりの中から自ら課題を見つけ、自分の問題としてとらえ、進んで調べたり考えたりする力を身につけると共に、学びとったことから自分の生き方を考え生活に生かそうとする態度を育てます。
図工	○造形的な創造活動を楽しみ、自ら進んで表現し、つくりだす喜びを味わいます。	特別支援	○一人ひとりのニーズに応じた教育を通して、得意なことを引き出し、可能性を最大限に伸ばすことにより、自ら考え、学ぶ楽しさを感じながら、意欲的に学ぶ力を育みます。
体育保健	○運動の楽しさや喜びを味わいながら、基礎的な身体能力を身に付けます。 ○心の健康の大切さを学び、学んだことを普段の生活に生かせるようにします。	学校図書館	○豊かな心情を育む読書活動の充実と、主体的な情報活用能力を育成します。
家庭	○衣食住などに関する実践的、体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な知識技能を習得することで、生活をよりよくしようとする態度を育てます。	学校食育	○自らの健康を考え、食生活を振り返り、主体的に食に関する学びを深め、望ましい食生活を身に付けます。



学校 教育 目標	「共に育つ中和田」			
	★かがやく目 【知】・自ら進んで学習に取り組み、粘り強く課題解決を図る子を育てます。 ・豊かなかかわりを通して、自分の考えを深め、表現できる子を育てます。 ★わかり合う心 【徳】・礼儀や規律を重んじ、自他のよさを認め合い、支え合う子を育てます。 ★みつめる生命 【体】・自他の生命を大切にし、心身力を伸ばす子を育てます。 ★つなぎ合う手 【公】・地域を愛し、積極的に社会にかかわり、貢献しようとする子を育てます。 ★つくる未来 【開】・グローバルな視野をもち、持続可能な社会の実現に取り組む子を育てます。			
学校 概要	創立 133 周年	学校長 高嶋 聡	副校長 加藤 義治	2 学期制 一般学級: 21 個別支援学級: 6
	児童生徒数:	626 人	主な関係校: 中和田中・和泉小・伊勢山小・上飯田小	

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
「自分づくりの力」 「共に高め合う力」の育成	中和田中学校 和泉小学校 伊勢山小学校 上飯田小学校	自ら進んで「さわやか挨拶！しっかり返事！！」をする子 地域の一員として、主体的に考え、行動する子 一人ひとりの子どもが「安心して心豊かに生きる」ことができるように、中和田中学校 区の学校・家庭・地域が協働・連携を強化し、まちを愛し、まちから愛される子どもを 育む。「挨拶はあふれる笑顔の合言葉」ハッピースマイルがあふれる児童支援体制 の確立と日々の授業力向上、子どもの「心の育ち」に着目した学校行事の展開に教 職員が丸となって取り組む。日々、振り返り・不断の改善を図る意気込みでよりよ さを求め、今の最高を目指す。PDCAサイクルの日常化。

中期 取組 目標	「子ども一人ひとりを大切にし、誰もが安心して楽しく過ごせる学校づくり」 ○適切な児童理解をもとに子どもの自己有用感、自尊感情を育みます。 ○学ぶことが楽しいと思える教育活動を実践します。
	かがやく目【知】自ら課題を見つけ、つかみ、解決する過程で、他の考えに触れ、自分の考えを広げ深めることを大切にします。「知をつくる」 わかり合う心【徳】全教育活動を通して、自他のよさや違いを実感し、互いの可能性を信じ大切にします。「風土をつくる」 みつめる命【体】運動や食事の楽しさを味わう過程で、心と身体のつながりを考え、健康を大切にします。「元気をつくる」 つなぎ合う手【公】まちのよさに触れながら、自分にできることを見つけ、実践する過程でまちと自分とのかかわりを考えることを大切にします。「社会をつくる」 つくる未来【開】出会う全てと心豊かに関わり、共感的に理解したり合意形成したりする過程で多様性に触れ、自分を見つめることを大切にします。「自己をつくる」

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	主体的な学びとなるように、児童自身が学習の見通しをもつこと、自分の考えを表現し、関わり合いから考えを深める豊かな学びを目指し、授業改善を行います。個々に適した学び方を大切にし、基礎・基本の定着を図ります。自身の学びの振り返りを大切にします。
担当	教育評価・重点研究	
徳	道徳教育	道徳の授業を大切にし、各教科や学校行事等の結びつきを深めし、全教育活動で自他を大切にしている心情や態度、誰もが安心して豊かに過ごすことを大切にしている子どもを育てます。集団生活の中で協力し支え合うことの大切さを実感をもって理解できるようにします。
担当	道徳・人権指導	
体	健康教育	児童自ら自分の健康に目を向け、よりよい生活習慣を考え、実践していく態度を育てます。保護者とともに健康的な生活習慣の定着を目指します。全校で体力づくりや学校保健委員会のめあてに向けた具体的な取り組みを行います。心身ともに元気な子どもを育てます。
担当	体育健康	
公開	自分づくり教育	行事、特別活動、異学年交流等、多くの関わりを通して自分の良さや役割を理解し、目標をもって自分を高める力を育てます。体験的に学ぶ機会を積極的に設け、他者との関わりの中で自己有用感を高めるようにします。自らを振り返ることで成長や変容を実感できるようにします。
担当	特別活動部	
	いじめへの対応	子どもに寄り添う姿勢を大切にします。組織的な支援体制の強化に努め、全職員がいじめについて丁寧に対応します。子どもたちの中にいじめ防止の意識を高め、いじめが発生しにくい学校風土づくりに努めます。積極的な認知と解決への取組、定期的な面談やアンケート等を実施します。
担当	いじめ防止対策委員会	
	人材育成・ 組織運営(働き方)	教職員のチーム力の向上に努め、生き生きと活躍できるようにします。学校組織の活性化を図り、教職員が自分の良さを発揮しやすくなるように努めます。互いに学び合う機会を設け、指導力の向上を図ります。長時間勤務等の働き方の改善を進めます。
担当	教務部 メンターチーム	
	特別支援教育	全教職員で個に応じた温かい指導を行います。個別的教育計画や指導計画のもと、一人ひとりに寄り添いながら児童の特性に応じた特別支援教育の充実を図ります。個別支援級と一般級の子どもの同士の関わりを大切にし、交流の様子をしっかりと見取り、的確な指導・支援をします。
担当	特別支援委員会	
	児童指導	子ども理解の感度を更に高め、安心して学校生活を送れるようにします。教職員一人ひとりが積極的に子どもたちと関わり、信頼感・安心感ある人間関係づくりに邁進します。問題の早期発見の努め、家庭や必要な機関と連携し、素早く丁寧な対応に努めます。
担当	人権・児童指導委員会	
	地域連携	様々な機会を通して中和田のまちの人たちとの関わりをより一層深め、地域を理解するとともに学校を理解していただくことにも努めます。授業や学校行事を通して地域と子どもがふれあう活動の充実を図り「まちを愛する心」を育みます。温かい地域に過ごす喜びを実感できるようにします。
担当	つながり委員会	

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

「共に育つ中和田」
 ★かがやく目 【知】・自ら進んで学習に取り組み、粘り強く課題解決を図る子を育てます。
 ・豊かなかかわりを通して、自分の考えを深め、表現できる子を育てます。
 ★わかり合う心【徳】・礼儀や規律を重んじ、自他のよさを認め合い、支え合う子を育てます。
 ★みつめる生命【体】・自他の生命を大切に、心身力を伸ばす子を育てます。
 ★つなぎ合う手【公】・地域を愛し、積極的に社会にかかわり、貢献しようとする子を育てます。
 ★つくる未来 【開】・グローバルな視野をもち、持続可能な社会の実現に取り組む子を育てます。

教育課程全体で
育成を目指す資質・能力

具体化した資質・能力

「自分づくりの力」
「共に高め合う力」の育成

- ・自分を大切にする(自己肯定感・自己決定力)
- ・自己表現力の育成(言葉で伝える 自分らしさの発揮)
- ・周りの人を大切に、協し合う力
- ・より良いものを求める主体性と向上心
- ・自分の未来や持続可能な社会を考えた行動力

中期取組目標

「子ども一人ひとりを大切に、誰もが安心して楽しく過ごせる学校づくり」
 ○適切な児童理解をもとに子どもの自己有用感、自尊感情を育みます。
 ○学ぶことが楽しいと思える教育活動を実践します。
 かがやく目【知】自ら課題を見つけ、つかみ、解決する過程で、他の考えに触れ、自分の考えを広げ深めることを大切にします。「知をつくる」
 わかり合う心【徳】全教育活動を通して、自他のよさや違いを実感し、互いの可能性を信じ大切にします。「風土をつくる」
 みつめる命【体】運動や食事の楽しさを味わう過程で、心と身体をつながり考え、健康を大切にします。「元気をつくる」
 つなぎ合う手【公】まちのよさに触れながら、自分にできることを見つけ、実践する過程でまちと自分とのかかわり考えることを大切にします。「社会をつくる」
 つくる未来【開】出会う全てと心豊かに関わり、共感的に理解したり合意形成したりする過程で多様性に触れ、自分を見つめることを大切にします。「自己をつくる」

学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
授業改善	児童自身が学習の見通しをもち、主体的な学びとなるように授業改善に取り組みます。学習の中での自分らしい豊かな表現力を育成し、学び合いによる深い学びを目指します。個々に適した学び方を大切に、基礎・基本の定着を図ります。自身の学びの振り返りを大切にします。
担当	教育評価・重点研究

学力向上に関わる本校の状況
<p>(1)学力に関わる児童の実態</p> <p>全体的に見ると、学習意識、生活意識は市の平均に比べて高いレベルを保っている。「各教科の勉強は大切だ。」勉強は生活に役立つ、将来のために必要だ。」と思っている児童が多い。学習意識と結果が結びついていないと言いが、その気持ちを大切に、学習意欲を高めて、指導・支援していきたい。</p> <p>また、知識について、中学年では、市の平均レベルまたはそれ以上の結果が出ているが、思考力が低いという児童の実態との違いを感じる。また、高学年では、市の平均を下回っているが、極端にできない子は少ないものの、学力差が大きいことが分かる。教科によっては苦手意識を感じているところがあるので、進んで学習に取り組めるような手立てを考えたい。</p> <p>(2)これまでの学校の取組状況(課題)</p> <p>自分の考えを様々な形、場で表現する時間を十分に与えるようにして学習指導を進めることや子どもの主体的な学びを引き出し、豊かな関わりを通して、自ら考え表現できる子を育てられるよう重点研究を進めてきた。</p> <p>学力向上に向けて、国語の「書く」や算数の「思考」に重点を置き、課題解決に向けた支援や系統的な指導がとれるように工夫する必要がある。中でも昨年に引き続き国語に重点をおき、子ども同士の学び合いの充実を図ってきたい。そして、自ら進んで学習に取り組む、粘り強く課題解決を図る力、豊かな関わりから自分の考えを深め、表現する力を育むことを目指していきたい。</p> <p>・繰り返し自信へつながり、しっかりと力をつけてきているが、日常とながらない。</p> <p>・語彙量が少ない。自分の思いをなかなか書けない。</p> <p>・深く考えているのかもしれないが、表現力が乏しいため、分かりづらい。</p> <p>・最後まで粘り強く取り組むことに難しさを感じる児童が多い。自力解決の過程がしっかりと定着していない。</p> <p>・言葉の理解が乏しいので、自信をもって解決する場面まで到達できていない。</p> <p>・自分の思いや考えを表現するに留まることが多く、相互に作用しながら主体的に聞き、互いの考えをつなぎ、関連付けていく力に課題がある。</p> <p>・学び合いを紡いでいくための基礎的な言語能力の向上が必要である。</p> <p>・自分で考えて学びを深めるまではほど遠く、受け身で指示待ちになることが多い。</p>

今年度の目標
<p>言葉で思いをつなぎ、確かな自分を育み続けようとする子の育成 (具体的な姿として、①多様な考えと出会う姿 ②同じ思いでも違う表現、違う角度からの捉えに共感する姿 ③一人ひとりのよさやもれ味を肯定的に感じ、豊かな関わり合いをもとうとする姿)</p>

目標を実現するための具体的な行動プラン
<p>○「聞く」「聴く」「訊く」ことに価値をもたせる 考えながら「きく」ことを意識させることで、他者の考えを吸収したり、自分の考えを広げ深めたりできるようにする。</p> <p>○学び合いを深める授業展開の充実 子ども自ら課題を見つけ、つかみ、解決する過程で、他の考えに触れ、自分の考えを広げ深めていく経験ができるような授業を行う。</p> <p>○ユニバーサルデザインの授業の充実 どの子にもわかりやすい授業の在り方について考え、教育環境を整備したり、教材・授業展開の工夫を行ったりする。</p> <p>○研修・研究会の時間の確保と内容の充実 学年による研究・研修時間を確保し、材の発掘や教材研究をさらに深める。</p> <p>○国語科：基礎基本が定着するように計画的に丁寧な指導する。「書く」については、文章を書く機会を設け、実態に応じた指導法を工夫する。</p> <p>○算数科：説明する機会や共有する時間を大切にする。ヒントを出したり、説明の仕方の例を提示したりして支援する。具体物の操作や体験的な活動を取り入れて、感覚を伴って理解できるようにする。</p> <p>○社会科：学習課題を明確にし、課題解決のための資料の読み取りに力を入れる。</p> <p>○理科：「実験課題」「予想」「実験方法」「結果」「考察」を順序立てて継続的に行う。</p>
<p>○上半期に設定した対策をもとに学習指導した途中経過をまとめる。 ・各学年の実態から、取組の成果と課題を出す。 ・実態を基に、縦のつながりについても検討する。</p> <p>○宿題の系統化を行うことで、学習につなぐ。 ・6年間を通して、自分が学んだことを理解できるように順を追って内容を見直したり、追究したりするなど、自分でもう一度と学びを確かめる力を高めてために、「復習ノート」の取り組みを実施する。 一途中経過等、学年内、学校内で情報を共有し、実態に合わせた手立てを考案していく。</p> <p>○対策をもとに学習指導をした結果をまとめて、来年度に引き継ぐ。 ※取り組んだものや作成したものを来年度も継続して行うことで、児童に定着できるようにする。 <引き継いでいくもの> ※学年が変わっても同じ指導ができるようにする。 ・学習カード ・振り返りカード ・ヒントカード ・語型 ・漢字ドリルや計算スキルなど使用した学習資料</p>

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
道徳教育	①道徳科年間指導計画に沿った授業参観や出前授業を年1回以上行い、家庭や地域、関係機関と連携して心の教育を進めていく。 ②ペア学年や全校で交流する活動の、さらなる充実を図り、活動を通して自己理解や他者理解が深まるよう支援していく。
担当	道徳・人権指導

豊かな心に関わる本校の状況
<p>(1)豊かな心に関わる中和田小の児童の実態 本校の児童は素直で、穏やかな児童が多い。責任感もあり、すべきことが分かれば最後まで一生懸命に取り組むことができる。全体的に落ち着いている児童が多い。一方で、自ら考えて行動しようとする意識は低い傾向にある。ルールを守れない児童も少ないが、自分からはできない児童が多い印象である。</p> <p>(2)これまでの学校の取組状況 ・「特別の教科 道徳」の授業を意識的に充実させ、日々の道徳授業を意識的に充実させた。授業参観では全学年の道徳授業公開を年1回以上実施した。 ・児童の委員会が中心となり、挨拶を重点的に行う週間を設け、児童が自ら挨拶できるように取り組んだ。挨拶のみならず、しっかり返事をする習慣も身に付けてきた。 ・Y-Pアセスメントシートを活用し、児童の実態把握に務めた。スクールカウンセラーによる研修により、教師の児童理解も深めた。 ・人権週間では、人権ワークシート集や「見つけ 気づき 変わる」などの資料を活用し、発達段階に合わせた内容の授業を行った。 ・中学校ブロックで子ども会議を開催した。自分たちの学区をより居心地のよいものにするために、6年生中心に話し合いを行った。 ・異学年交流のたてわり活動(なかよし活動)を行ってきた。月に1度ほどの中休み遊ぶ活動や、朝の時間に集まって遊ぶ活動をすることで、初めて出会う異学年の友達とも徐々に仲良くなり、笑顔で話す様子が見られた。</p>

今年度の目標
①「特別の教科 道徳」を充実させ、道徳的实践意欲と態度、判断力、心情を高めていく。②なかよしペア活動(異学年活動)を充実させるとともに、自分の大切さ、他の人の大切さを認められるように人権教育の取組を推進する。

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	<p>☆昨年度より、異学年交流を「なかよしペア活動」として活動を始めている。異学年のペアを決め、相手意識をもたせて、なかよし集会等を通して交流していく。この活動を通して、ペアの相手はもちろん学校の友達と仲良く過ごし、自己肯定感を高めていく。 ☆児童の委員会活動を中心に挨拶運動を行っていく。日常的にも、登下校時や教室移動時などに挨拶する習慣を身に付け、挨拶することが常としていく。 ☆学校保健委員会では「心の健康」をテーマとし、だれもが安心して過ごせることについて考えたり、横浜プログラムを全学年で取り組んだりして、自分や人の大切さに気付くことができるようにしていく。 ☆道徳部を中心に情報を発信し、充実を図り、年に1度、保護者参観で授業を公開する。 ☆Y-Pアセスメントを実施し、夏休みには研修を行い活用できるようにする。 ☆夏季人権研修を行い、職員の人権感覚を磨く機会とする。</p>
下半期	<p>☆人権週間では、人権キャラバンの活動を取り入れ、多様な考え方や生き方にもまれる機会を設ける。 ☆生命の大切さについて考える「いのちの学習」を各教科を通して行っていくようにする。 ☆各学年の発達段階に応じた資料を人権担当が提示し活用できるようにする。</p>

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健康教育	保護者とともに「早寝・早起き・朝ごはん」を推進します。全校で学級づくり・体力づくりのため、短縄や長縄に取り組みます。心身ともに元気な子どもを育てます。①「早寝・早起き・朝ごはん」の一層の働きかけで心地よい生活を実感できるようにする。②体力アップの柱として、全校(全クラス)短縄や長縄、「みんなで外遊び」に取り組む。③保健・食育などの学習の充実のため、栄養教諭・栄養士と連携し、学年に応じた学習の活動の展開を図る。④人権指導とともに性的マイノリティに関する指導やいのちの学習の充実を図る。
担当	体育健康

健やかな体に関わる本校の状況
<p>本校では、どの学年もほとんどの児童が朝食を摂取して登校している。しかし、少数ではあるが、朝食を摂らなかつたり十分な睡眠を取らなかつたりしている状態で登校している児童もいる。そのため、授業中に寝たり、集中できなかつたりと心配な児童もいる。全校児童が、健康的で規則正しい生活を送ることができるようにする。</p> <p>体力テストの結果では、横浜市の平均と比べた所、学年や種目によって偏りが見られることが分かった。全ての種目を高めることは難しいが、運動の根底には、体力をつけることが望ましいと考える。体力を高めるだけでなく、子どもたちが運動に親しみ、心身ともに健康な生活を送れるような工夫と環境づくりに努めるようにする。</p>

今年度の目標
運動継続で体力アップ ～はばたく中和田っ子～

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	<p>①「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に規則正しい生活を家庭と協働しながら、継続的に取り組む。 ②一校一実践運動では、短縄や長縄を通して、体力の向上に励む。体育の授業に縄跳びを取り入れる。クラスごとに長縄の回数を掲示し、更新することに貼ります。 ③栄養士と連携しながら食育に関する授業を行う。 ④運動委員会で長縄集会の提案をし、1年間を通して実施する。</p>
下半期	<p>①安全な学校生活を送るために、学校保健委員の呼びかけによる各クラスの安全に関するテーマを設定する。 ②体力・運動面での児童の実態を保護者と共有するために、体力テストや生活実態調査の結果を、お便りや個人面談等を使用して、伝えるようにする。 ③年間を通して、授業や日々の活動の中で短縄を行い、体力向上につとめる。各クラスや学年で取り組めるようにする。</p>

2 教育活動

(1)年間授業時数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日数	16	21	21	13	4	19	22	20	18	18	18	16 (6年13)

合計

2-5年206
6年203

(2)教科等年間単位数(1単位を15分 3単位で1時間)

標準時数よりモジュールで

		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
各教科標準単位数	国語	918	945	735	735	525	525
	社会	0	0	210	270	300	315
	算数	408	525	525	525	525	525
	理科	0	0	270	315	315	315
	生活	306	315	0	0	0	0
	音楽	204	210	180	180	150	150
	図工	204	210	180	180	150	150
	家庭	0	0	0	0	180	165
	体育	306	315	315	315	270	270
	道徳	102	105	105	105	105	105
	学級活動	102	105	105	105	105	105
	総合的な学習	0	0	210	210	210	210
外国語(YICA)	60	60	105	105	210	210	
児童活動	児童活動	14	15	15	15	21	21
	委員会	0	0	0	0	33	33
	クラブ	0	0	4	40	40	40
行事		104	100	82	82	100	93
合計		2728	2905	3041	3182	3239	3232
残単位数		120	109	92	90	73	54
年間総単位数		2848	3014	3133	3272	3312	3286

2 教育活動（2）主な学校行事

日にち	内容
4月 8日（月） 19日（金） 22日（月）	始業式・入学式 4・5・6年授業参観懇談会、7組懇談会 2・3年授業参観懇談会、1年懇談会
5月15日（水） 17日（金） 31日（金）	3年江ノ島水族館遠足 引き取り訓練 1年・7組授業参観
6月20日（木） 21日（金） 29日（土）	5年富士宿泊体験学習 〃 土曜参観（2・3校時）
7月 1日（月） 2日（火） 3日（水） 7月 2日（火）～ 11日（木）まで 12日（金） 13日（土） 19日（金）	土曜参観振替休業日 6年日光修学旅行 〃 個人面談 4年上郷宿泊体験学習 〃 夏休み前最終授業日
8月27日（火）	夏休み後授業開始日
10月19日（土） 21日（月） 下旬	運動会 運動会振替休業日 1年生・2年生 遠足（日程・場所未定）
11月27日（水）～ 12月 5日（木）まで	個人面談
12月13日（金） 25日（水）	くすのきスマイルデイ（保護者参観あり） 冬休み前最終授業日
1月 7日（火）	冬休み後授業開始日
2月13日（木） 2月14日（金） 2月17日（月）	1・2・3年・7組 授業参観・懇談会 4・5年 授業参観・懇談会 6年 感謝を伝える会・懇談会
3月19日（水） 25日（火）	卒業証書授与式 修了式、離任式

詳細は、お配りした行事予定や学校ホームページをご覧ください。

未定部分が決定した場合や諸事情により変更する場合は、すみやかにお知らせいたします。

横浜市立中和田小学校 いじめ防止基本方針（抜粋版）

—すべての児童が安心安全な学校生活を送れるように— 平成26年 3月24日策定
令和6年度 校長 高嶋 聡

①未然防止 ～いじめを生まない土壌づくり～

人権教育の充実

- いじめは、相手の「人権を踏みにじる行為であり、決して許されるものではない」ことを児童たちに理解させる。
- 児童たちが人の痛みを思いやることができるよう、人権教育の基盤である生命尊重の精神や人権感覚を育むとともに、人権意識の高揚を図る。

道徳教育の充実

- 未発達な考え方や道徳的判断力の低さから起こる「いじめ」に対し、道徳の授業で大きな力を発揮させる。
- いじめ問題は、他人を思いやる心や人権意識の欠如から発生するものであり、いじめをしない、許さないという、人間性豊かな心を育てる。
- 児童たちは、心根が揺さぶられる教材や資料に出会い、人としての「気高さ」や「心づかい」、「やさしさ」等に触れさせ、自分自身の生活や行動を省み、いじめの抑止につなげる。
- 道徳教育では、児童の実態に合わせて、題材や資料等の内容を十分に検討したうえで取り扱う。
- 「いのちの学習」を中心に、自分の命の尊さを知り、家族に対し感謝の気持ちをもつとともに、友達や身の回りのいのちに対しても思いやりをもち、大切にしようとする心情を育てることを、学年ごとに系統的に取り組む。

体験活動の充実

- 児童たちは自己と向き合い、他者、社会、自然との直接的なかかわりの中で、生命に対する畏敬の念、感動する心、共に生きる心に自分自身が気づき、発見して体得させる。
- 現在の児童たちは、「生きた社会」とのかかわりが少なく、学校が意識的に発達段階に応じた体験活動を体系的に展開し、教育活動に取り入れる。

異学年交流を重視した特別活動の充実

- 現在の児童たちは、他者に関わる生活体験や社会体験が少ないため、日々の授業をはじめとする学校生活のあらゆる場面において、他者に関わる機会を増やしていく。
- 児童たちが、他者の痛みや感情を共感的に受容するための想像力や感受性を身につけ、対等で豊かな人間関係を築くための具体的な交流プログラムを教育活動に取り入れる。

②早期発見 ～児童の変化を敏感に察知～

日々の観察

- 休み時間や昼休みの雑談等の機会に、児童たちの様子に目を配る。「児童がいるところには、教職員がいる」ことを目指し、児童たちと共に過ごす機会を積極的に設ける。
- いじめ早期発見のためのチェックリストを活用しながら、実態把握に努める。
- 学校便りや学年便りを通し、日常的にいじめの相談の窓口があることを知らせる掲示をする。

観察の視点

- 成長の発達段階からみると、児童たちは小学校中学年以降からグループを形成し始め、発達の個人差も大きくなる時期でもあることから、いじめが発生しやすくなる。担任を中心に教職員は、学級内にどのようなグループがあり、そのグループ内の人間関係がどうであるかをY-Pアセスメントシート等を活用し、状況を把握する。
- 気になる言動が見られた場合、グループに対して適切な指導を行い、関係修復にあたる。

日記の活用

- 必要に応じ、心のノートや生活ノートなどを通し、担任と児童・保護者が日頃から連絡を密に取ることで、信頼関係を構築する。
- 気になる内容に関しては、教育相談や家庭訪問等を実施し、迅速に対応する。

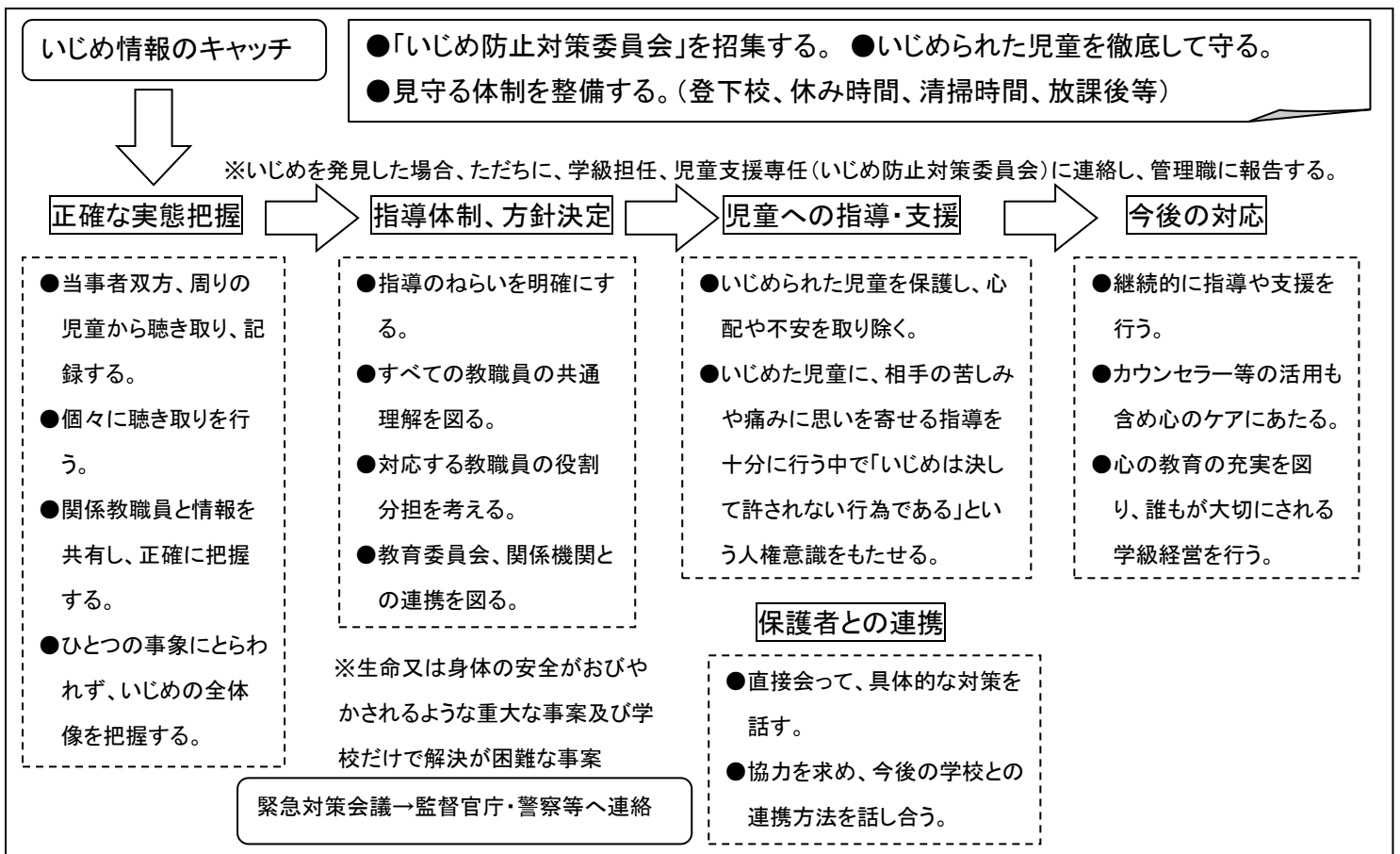
教育相談(学校カウンセリング)

- 日常生活の中での教職員の声かけ(チャンス相談)等、児童が日頃から気軽に相談できる環境をつくる。それは、教職員と児童たちの信頼関係の上で形成されるものと考える。
- 定期的な教育相談週間を設けて、必要に応じて、全児童を対象とした教育相談を実施する等、相談体制を整備する。いじめアンケートを実施後に、月間として位置づける。

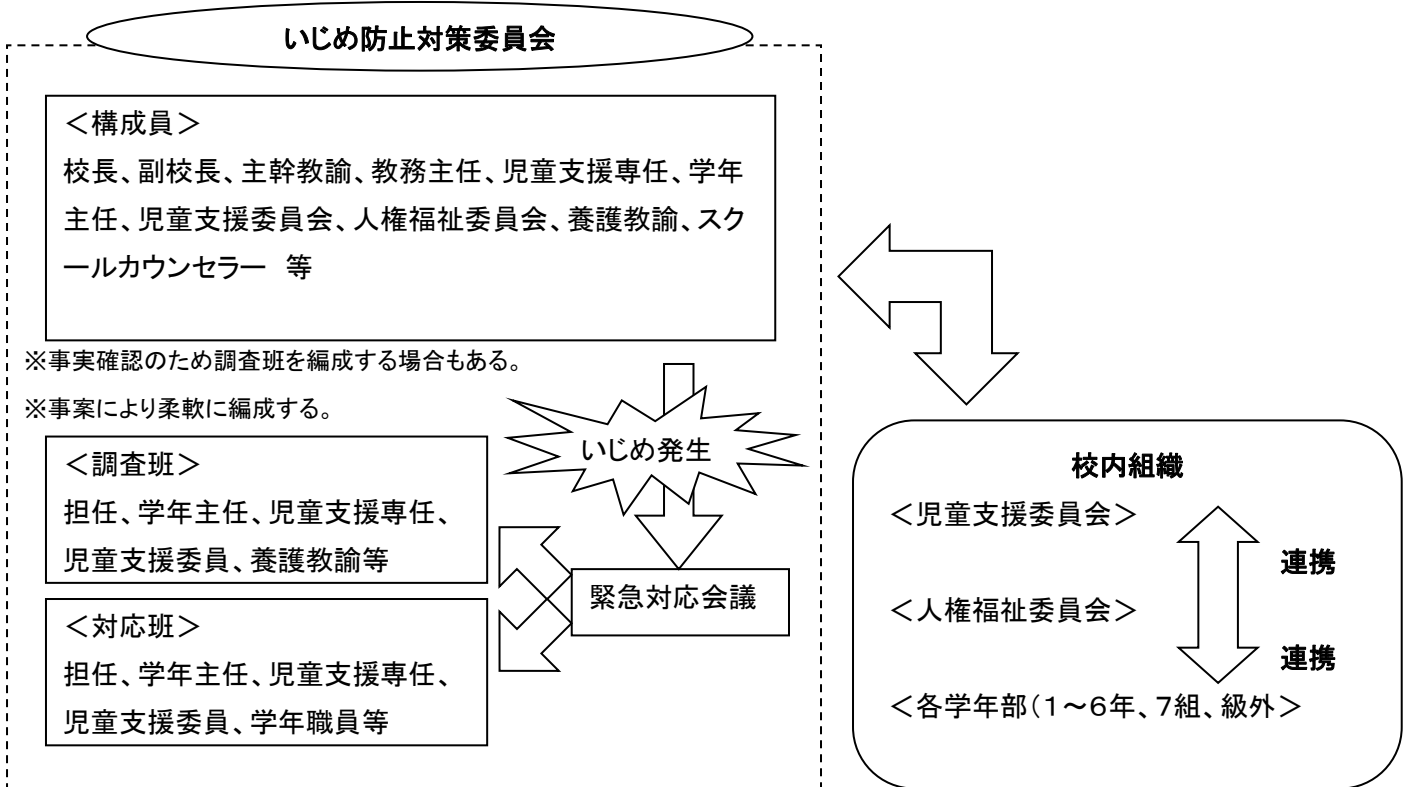
いじめ実態調査アンケート

- 実態に応じて随時実施することを原則とし、年間2回以上のアンケートを実施する。
- いじめられている児童にとっては、その場で記入することが難しい状況も考えられるので、実施方法については、無記名、持ち帰り等、学校の実情に応じて配慮し実施する。
- アンケートはあくまでも発見の手だての一つであるという認識で取り組む。

③早期対応の基本的な流れ ～問題を軽視することなく、迅速かつ組織的に対応～



④いじめ問題に取り組む体制づくり ～学校長のリーダーシップのもと、いじめ防止対策委員会を設置～



※定例のいじめ防止対策委員会は、年間に2回程度開催する。

※いじめ事案の発生時は、緊急対応会議を開催し、事案に応じて調査班や対応班等を編成し対応する。

※いじめ防止対策委員会での内容や事案に応じての対応については職員会議において報告し、周知徹底させる。

※いじめ相談窓口…校長、副校長をはじめ、全職員のだれにでもご相談ください。

保護者様

横浜市立中和田小学校
校長 高嶋 聡

暴風警報等緊急警報発令時の対応について

本校では、標記のような災害等が発生した場合、次のような方法で児童の安全確保を行うことにしています。ご理解とご協力をお願い致します。

登校前（午前6時の段階）に「暴風警報」「暴風雪警報」「大雪警報」「特別警報」が発令されている場合

○横浜市内（神奈川県全域、または神奈川県東部または横浜・川崎）に「暴風警報」「暴風雪警報」「大雪警報」「特別警報」が、午前6時の段階で発表継続中の場合は、臨時休業（休み）とします。

※上記の場合は学校からの連絡は行いません。

テレビ・ラジオ・インターネット・天気予報電話サービス(045-177)等で「暴風警報」の発表についてご確認ください。（裏面参照）

※「暴風警報」を伴わない「大雨警報」「洪水警報」の発令では、**各家庭の判断での登校になります。**しかし、地域によって状況が異なりますので、**登校に危険があると判断された場合は、安全が確保されるまで登校を見合わせる措置をお願いします。**欠席、遅刻にはなりません。必ず学校への連絡をお願いいたします。

児童在校中の緊急災害時等の対応について

○本校では、児童の在校中に次のようなことが起きた場合、児童を学校に留め置き、保護者またはそれに代わる方に、引き取りに来ていただくことにしています。引き取りまでは、学校で児童の安全確保を行います。（学校からメール配信でご連絡いたします。）

- 「暴風警報」「暴風雪警報」「大雪警報」「特別警報」が発表された場合
- 大地震（震度5強以上）が発生した場合
- 大規模地震警戒宣言が発令された場合
- 不審者が出没した場合など

※保護者、または児童カード裏面に記載してある親族の方以外は引き渡しできませんので、ご承知おきください。

※暴風警報が発令されていなくても、天候の急変により下校時間帯に暴風や大雨が予想される場合は、授業を早めに切り上げ、方面別一斉下校をすることも想定しています。この場合は、メール配信で連絡いたします。

児童の登下校、保護者の方の来校方法について

- 欠席の連絡については、すぐーるでご連絡をお願いします。すぐーるが無理なときは、電話でご連絡ください。(登校時間は8時15分から8時25分です)
- 学校から帰宅する時刻については、お子さんとともに確認してください。
- 放課後、習いごとへは、いったん帰宅した後に行くようにしてください。
- 道路歩行や自転車に乗るときの約束などは学校でも交通安全教室等で指導をしています。ご家庭でも、危険箇所などについて、ぜひご指導ください。下校途中に、お子さんが交通事故にあった場合は、加害者が補償することになりますので、健康センターの対象とはなりません。また、交通事故の場合は、必ず警察へ連絡してください。
- 車での来校については原則として禁止とさせていただきます。しかし、お子さんのけがや病気の送迎に際し、車での来校が必要なときはお申し出ください。なお、登下校の時間は避けていただきますよう、ご承知おきください。

<開閉門時間>

- 開門…8時15分 閉門…8時25分
- 南門は、8時25分に鍵をかけるので、遅れた場合は正門へ回ってください。
- 正門は、8時25分に門は閉めますが、鍵はかけません。電子錠がセットされている場合は、門柱にあるインターフォンで職員室に連絡して解除してもらい、入ってください。
- 下校時の南門閉門時刻について (※閉門時刻を過ぎた場合は、正門から下校します。)
4校時…13時45分 5校時…14時45分 6校時…15時30分
クラブ…15時30分 委員会…15時15分 短縮4時間給食なし…12時15分

<保護者の方へ>

- 校内には正門から入り、インターフォンでお名前と要件を伝えてください。
(授業参観や行事の場合を除きます。)
- 来校の際は、必ず名札を着用してください。お忘れになった場合は職員室で借りてください。要件が済みましたら職員室に立ち寄りその旨を伝えてください。名札を借りた場合は返却をお願いします。
- 登校時間以外は、南門は使用できません。正門をご利用ください。下校時に開門している場合は、通行してかまいません。
- 車やバイク(原付含む)での来校は禁止です。自転車での来校も極力控えてください。特に全校が集まる運動会、スマイルデイ等の行事の際には、ご理解ご協力をよろしくお願いします。
- 授業参観では、カメラ・ビデオ・スマートフォンなどでお子さんの様子を撮影することはご遠慮いただいております。運動会や卒業式などの行事において撮影したものをSNSやネット上に投稿することは、個人情報保護法の観点からご遠慮ください。

令和6年度

学年目標

個別支援	36にん HAPPY 7 (seven) ~なかよく げんきに なんでも チャレンジ!~
第一学年	
第二学年	  おもいやる心 にが手なことにも ちょうせん きょう力する なかま やりきる力
第三学年	「向日葵(ひまわり)」  向…友達と向き合うことができる子 (つなぎ合う手) (わかり合う心) 日…心も体も明るく元気に過ごすことができる子 (見つめる生命) 草…何事も根気強く努力する子 (かがやく目) 天…考動することでレベルアップができる子 (つくる未来)
第四学年	共感・挑戦  の山
第五学年	協力・メリハリ・輝く銀河 真の高学年へ レッツ5!
第六学年	『Six Star Shine』 ~つなわれ虹の架け橋! 最高学年として中和田の★を輝かせよう!~